

西諫早地区 社協だより

第20号

令和7年3月15日

西諫早地区社会福祉協議会

会長 黒田 一彦
編集責任者 峯友 清博
印刷所 (有)昭文社印刷



笑って楽しく・心を元気に!
平山百合子さんの講演

平山先生の「笑って楽しく心を元気に」健康講座と、真崎町西部台有志の踊りを楽しみアンコールの声も飛び出し、皆さん楽しい時間を過ごしました。
開催のため協力して下さいた地区社協の皆さんもお疲れさまでした。



地区社協主催
の集いを去る
十一月十三日
に来賓の皆さん

令和六年度第二十五回
「ひとり暮らし高齢者の集い」の開催にあたって

西諫早地区社会福祉協議会 会長

黒田 一彦



アセンズ通り物語

西諫早地区社協事務局長 南川 眞知子

アセンズ通りはもうじき春、テネシー州の州花アメリカハナミズキが、白とピンクの十字の花を咲かせ、控えめながら通りに彩りを与えます。アゼンズ市との姉妹都市締結の記念に植樹され、通りの名前と共に交流の軌跡を今に伝えていきます。

今年姉妹都市の締結、真城小学校の開校からちょうど四十年。正式調印のため来諫したアゼンズ市代表団が、開校直後の真城小学校を訪問したことが縁で、西諫早地区も交流に一役かうことになりました。アゼンズ通りの命名式では、地域住民と小中学生も参加して渡り初めが行われ、歩行者天国しながらの賑わいでした。当時のこともたちにとつては異文化を肌で感じる良い機会となりました。実はアゼンズ市にも「いさはやレーン」と名付けられた通りがあります。

四十年を経て、このアゼンズ通りは、名前の由来を知らずとも、私たちにとつては、すっぴりおなじみの生活道路となつていきます。

今回の真崎町西部台自治会有志の皆さんによるテネシーワルツのご披露は、様々な形で交流に関わらせて頂いた私個人にとつても、当時を思い出す大変嬉しい出来事となりました。



広報いさはや(S62年版)のアセンズ通りの命名式

ひとり暮らし高齢者の集い

参加された方に感想等をうかがいました



堂崎一
小林ヒトミ
わずか五文字
のことば

ありがたい、ごめんなさい、を言えない人もいます。こんな良い言葉を使わないなんてもつたいないでしょう。心なごみますよね。コロナが流行する頃一人になりました。

「自分のものさしで人をはかるな」と夫はよく言っていました。それが今頃になってやっとわかった気がします。

コロナ前はアトラクションに出ていました。練習もその為にやりました。

楽しみにしている人もいます。練習もはげみになります。再開されるといいですね。

50、60はハナたれ小ぞう
70、80は働き盛り
90で迎えがきたならば
100まで待てと追い返せ
人生100年時代と言われている。



講師
平山 百合子

人の手を借りずにがんばりたいと思いませんか。皆さん!! 元気でがんばりましょう。フアイト!!



白岩南部
吉田尚子

私は十一月に成ると、ソワソワします。

なぜ?それは行事が結構有つて、特に、ひとり暮らしの集いが楽しみです。普段逢わない人と逢えて(久しぶりの人とも)取り留めのない話で盛り上がりま

す。ので。主人が亡くなって三十三年私も年を取り(八十四才)アチコチ体も(頭も)悪く成り、何だか落ち込む事が多く成つて来ましたが、平山先生のレクリエーション又講話の題名通り「笑つて楽しく心を元気に」と体も心も軽く成り帰りました。

スタッフの方々の御苦労(私も十数年前、民生委員を十年しました)大変さも良く分り、本当に感謝々々です。又来年も楽しい企画をよろしく、楽しみにしています。



津水
中路美知子

集いへは、昨年に続き二回目の参加です。「高齢者には、教育(今日行く)と教養(今日用)が大事」の言葉に、生活を顧みています。

健康講話の脳トレ「歌いながら運動」は、毎日の反復練習でフレイル予防。現在の運動量は不足だと痛感しました。真崎西部台の皆様のごエスタンス



破籠井
浦清志

今回、初めて参加させていただけました。

やはり一番気になったのは、他の一人暮らしの高齢者の方の毎日の過ごし方でした。例えば一人暮らし一年生の人の方からベテランの一人暮らしの方まで様々だと思えます。お互いの経験談とか、失敗談とか、これは、あくまでも理想論です。当事者間のディスカッションも少しあった方がいいと感じました。

健康体操は、最初ついていけましたが、だんだん高度になるとついていけなくなり、身体の衰えを改めて感じました。

それから、テネシーワルツは連れ合いが好きて、歌詞の内容も理解していました。元気な頃、時々歌っていたのを思い出しくし振りに聴いて懐かしかったです。

会場の時間制約もあると思いますが、あつという一時間半でした。例えば前半と休憩時間三十分入れて後半と、すみませんこれも又理想論です。

レクリエーション協会の平山さんから、沢山のパワーを頂きました。有難うございました。

イルの「テネシーワルツ」は、ハミングしながら楽しみました。運営の皆様、ありがとうございました。

真崎西部台 自治会有志一同

私たちは、今年の「のんのこ諫早まつり」の踊り町という事で集まったメンバーです。

この集いには、参加できるメンバーが集まり、「テネシーワルツサプライズ」の踊りを集いの参加者の皆さんに披露させていただきました。皆さんが笑顔で楽しんでくださった姿を見て、こちらまで元気をもらいました。アイドルのようにアンコールまでしていただき、有意義な経験になりました。感謝申し上げます。



テネシーワルツ・サプライズ 真崎西部台の皆さんの特別出演

ふれあい訪問

2025年1月18日、72歳以上のひとり暮らしの方を見守りを兼ねてお菓子を持参し訪問しました。(自治会長、民生委員、福祉協力員等で実施)

ふれあい訪問 坂本妙子

寒い今の時期、お風呂のヒートショックに気をつけて下さいとお菓子のプレゼントを配りながら、見守り訪問活動をしました。

八十代になられた丸内様は、いきいきサロン、老人会、体操教室とたくさんの方とふれあいながら、お元気にお過ごしです。

これからも、地域のつながり、コミュニケーションは大切にしていきたいと思えます。



ふれあい訪問 藤下和子

西諫早地区社会福祉協議会の活動の一つ、ひとり暮らしの見守り訪問として、お菓子を届ける訪問をいたしますと、「もらつてよかとやろうか、ありがたい、自分で買って食べないので、嬉しい」と言っていたら、ある会員さんは、私が訪問した前日お誕生日だったそうです。息子さんから、花束を送ってくれたと、みてみると私に花びんに飾つてある花をみながら息子さんの話で盛り上がり、お菓子を手に、笑顔いっぱい喜びました。この様に、訪問し、皆様にご挨拶、笑顔でありがとうございます。ありがとうございます。

西諫早地区社協研究会を実施

西諫早地区社協副会長

竹口 広介

二月七日、西諫早公民館にて自治会、民児協、老人会、婦人会、健全育成会、福祉協力員という福祉活動に携わる垣根を越えた仲間達が集まって、真津山小学校社協を迎えての研修会を実施しました。

真津山小学校区社協は部会制(事業部、広報部、総務部)を設けているが、実際の活動はみんなで協力して行うとの方針で運営されています。地区の小中学校の校長も理事として加わっており、地域の各団体との関係作りが深く、活動に協力して貰った団体へお礼、気配り、配慮が見て取れて、地域住民同士が助け合い支え合っているのが実感で、模範的な活動をされているなど感じました。

この研修会で得たことを西諫早地区社協の福祉活動への参考にし、なお一層活動に邁進したいと思えます。



白岩町南部

「いきいきサロン」の船出

代表 竹口 広介

白岩町で四つある自治会で四つ目のサロンとして、遅ればせながら八月にサロンが立ち上り、やっとなさんの仲間になれた様な気がします。社協地域支援課の方々、地区社協の各サロンの代表の方々等に教わりお世話になりながらの船出、立ち上げに携わっていたいた皆様方には感謝申し上げます。

又、立ち上げ時から私をバックアップしてくれる南部サロンのスタッフさん達に感謝し、地域の交流の場として、一步一步少しずつ南部サロンが成長していければと思います、毎月一回の行事で参加者さんもスタッフさんも、楽しくお喋りして笑って元気になってもらえたら幸いです。

白岩町南部でいきいきサロンが始まりました



真城小と真崎小で校長先生が新たに着任されました

子どもを中心に据え、思いや願いが叶う学校に



真城小学校

校長 田巻 治之

今年度から真城小学校に赴任しました田巻治之と申します。地域の皆様には、日頃から子どもたちへの見守りや行事への参加等本校の教育活動に御支援御協力を賜り感謝申し上げます。

さて、真城小学校は、次年度創立40周年を迎えます。これまで多くの皆様に支えられながら歴史を刻んで参りました。二〇二〇年度は、新型コロナウイルス感染症予防の影響で、なかなか地域の方をお招きして教育活動を実施できませんでした。アフターコロナとなつた今、これまでのように地域の皆様と共に「真城つ子を中心に据えながら、真城小に関わる全ての人の思いや願いが叶う学校づくり」ができればと考えています。運動会や真城太鼓披露会、その他各学年の行事等、お時間がある時にはぜひとも学校へ足をお運びください。そして次年度、創立40周年記念行事を予定しておりますので、多くの皆様においでいただき、記念行事を開催できればと思っております。

一人一人の子どもたちの未来のために。これからも地域の皆様と連携協働できる真城小学校となるように御支援御協力よろしくお願いたします。

どうぞ宜しくお願いします



真崎小学校

校長 作永 紀子

今年度四月に真崎小学校に着任いたしました。温かく迎えていただき嬉しく思いました。学校の方へもお気軽にお立ち寄りください。

さて、本校は今年創立百五十年を迎えます。「夢や希望を抱き、主体的・協働的に学ぶ、心豊かたたくましい児童の育成」という学校教育目標の実現に向け、百三十五名の明るく元気な子どもたち、二十四名の教職員と共に、教育活動を実践しています。

健やかな成長に様々な経験を必要とする子どもたちのために、育成協議会主催の水泳教室やペーロン大会、自治会主催の夏祭り、婦人会の皆様のご指導による総合学習の「おから餃子作り」「おこし作り」体験、育友会主催の「真崎ふれあい祭り」等、地域や保護者の皆様にこのようにたくさんのお力をいただいておりますこと、感謝に堪えません。

地域・保護者・学校の連携協働のもと、これからも充実した教育活動を展開してまいります。今後共よろしくお願いたします。



NPO法人 学童保育真城

令和6年11月20日(水曜日)に、西諫早地区社協の方々をお迎えし、一年生と一緒に学童前の花壇やプランターに花苗を植えました。陽ざしも暖かく、小さな手が土で真つ黒になりながらも、子どもたちは生き生きとした表情で花を植え揃えていきました。地域の方々からも優しく植え方を教えていただきました。植えた後は、学童に入って好きな食べ物を発表しあい、笑顔が絶えない素敵な交流となりました。一緒に植えた苗が綺麗な花々を咲かせてくれるのを楽しみにしたいと思います。ありがとうございました。

世代間交流

西諫早地区社協では、毎年真城小、真崎小の学童保育と花植え交流を行っています。

顔が見える安心感 スポキッズ学童クラブ堂崎校 支援員 荒木光子

当クラブでは、西諫早地区社会福祉協議会の皆様にお声がけいただき、令和四年度から、年一回の花苗植えと、年賀状交流を実施しています。花苗植えは、配置決めから取り組みます。初めての子、手慣れた子、様々な児童がいますが、地域の方々や気さくに教えてくださるので、楽しく植え付けることができました。

年賀状交流は、受け取られた方々に新年の始まりを気持ちよく過こしてもらえよう、一枚一枚気持ちを込めて書いています。

このような交流を通して、子どもたちは地域の方々に見守ってもらっている安心感を持っているように思います。今後とも、『地域で子育て』をしていけたら幸いです。



スティック・フロアカーリング

冬季オリンピックでおなじみのカーリングは、日本でも人気のスポーツのひとつです。氷上での競技の為、実際誰でも気軽にできるものではありません。そこで多良見町元釜サロンの考案されたのが、このスティック・フロアカーリングです。老若男女問わず、室内で椅子に座ってでもできる軽スポーツで、いきいきサロンでも好評、今年度我が地区社協でも用具を購入し、早速お披露目の講習会を開催したところです。地域内の団体には無料で貸し出しをします。ぜひ皆さん体験をして楽しさを実感して下さい。



スティック・フロアカーリング 貸し出します(無料)

スティック・フロアカーリングに参加して

白岩南都 尾崎義子

12月26日西諫早公民館にて、多良見町元釜サロンの皆様をお迎えしてスティック・フロアカーリングの講習会がありました。デッキブラシ状のスティックを片手にキヤスター付きの木製ストーンをお互いに弾き合い、点数を競い合うゲームでした。オリンピックのカーリングを参考に、江崎さんが自治会長の時考案、制作されたそうです。

西諫早公民館ではスティック・フロアカーリングのお披露目となり、地区の方々も大勢参加されました。

3人一組になり相手の組と競い合いながら、次にカーリングの面白い楽しみかたがありました。この時ばかりはみな童心に戻ったような雰囲気になり、笑顔になり、時間を忘れてしまいうるな気軽で楽しめるスポーツでした。たくさんの人に人気ある、気軽に参加できる競技として、今回の講習会を、指導して下さった元釜サロンの皆様ありがとうございました。

しきどんさん

諫早市美術・歴史館 川内知子

真崎城は西郷尚善が対岸の大村氏の伊賀峰城に対する城として築いたものです。築城は志々岐四郎左衛門と言われ、しきどんさんは彼を祀ったものとされます。

平成5(1993)年2月8日社殿改築の際に床下から掘り出された、五輪塔の地輪と思われる石に「寛正二(1461)年辛巳十二月 道仙善門」と刻んでありました。道仙善門については不明です。志々岐四郎左衛門はこの地の豪族で、近くの水田に「小浜の浜」と呼ぶ所があり、入江であったのを四郎左衛門が干拓して開いた田といわれています。またロジャー坂と呼ぶ所もあります。

なお、志々岐氏については松浦氏が拠点とした宇野御厨の式内社志々岐神社(平戸市)の大宮司職で、鎌倉幕府御家人志々岐氏の流れをくむ一族かは詳らかではありません。



「しきどんさん」は地域の人に親しまれ、氏子の方々で掃除、草取り等実施されています。

編集後記

地域の皆様が参加されている「西諫早地区社協」を身近に感じてもらいたく、「地区社協だより」を初めてカラーにしました。